

University of Belize



**From the Desk of the Director
The Regional Language Centre**

Hummingbird Avenue

P. O. Box 340

Belmopan City

Belize, Central America

April 2, 2013

Dear KanagawaDaigaku SangyoRenkei Jigyo-Hon no Kakehashi Project

The Regional Language Centre, (RLC) University of Belize is located in the capital city of Belmopan, Belize. This centre is designed to facilitate closer integration, collaboration, and cooperation in economic, social, cultural, political, and educational development activities in Central America, the Caribbean, and other non-English speaking nations. This is achieved through bridging the barriers in regional and international communication. The RLC is essential to cross pollination of ideas and cultures and in so doing fosters integration and regional development. The RLC is an integral department of the UB where students from non-English speaking countries acquire English as a Second Language. Typically students enroll in the 10 months Intensive English Course.

The Regional Language Centre also does Language training for Japan International Cooperation Agency volunteers at least three times per year. This includes an immersion into the Belizean culture through home stays with Belizean families. One such volunteer was Mr. Takashi Hamazaki who promised to coordinate the collection of Japanese cultural items for the centre.

We are thankful for your contribution and promise to use these items for the benefit of cultural exchange here at the RLC.

Thanks again for your invaluable contribution.

Respectfully,



University of Belize



From the Desk of the Director
The Regional Language Centre
Hummingbird Avenue
P. O. Box 340
Belmopan City
Belize, Central America

2013年4月2日

神奈川大学 産業連携事業 「本の架け橋プロジェクト」様
拝啓

ベリーズの首都ベルモパンに位置します当ベリーズ大学地域言語センター（RLC）は、中央アメリカ、カリブ圏、および非英語圏諸国の経済、社会、文化、政治、教育分野の開発活動において、より緊密な統合、協力、協調関係を促進するために設立されました。これらの目的は、地域的および国際的なコミュニケーションの障壁をなくすことによって達成されます。RLCはさまざまな知性や文化の交流を助長し、地域の統合と開発の担い手の役割を果たしています。このように、RLCは非英語圏の学生が第二外国語としての英語を習得するために設けられたベリーズ大学の言語教育における統合機関で、学生は通常、10ヶ月間の集中コースを受講します。

また、地域言語センターは、国際協力機構（JICA）のボランティアに、年間約3回の語学研修を実施しています。この研修には、ベリーズ人家庭でのホームステイを通じて、ベリーズ文化を吸収することも含まれています。そのようなボランティアの一人に濱崎丘（はまざきたかし）氏がおりました。彼はセンターの設立趣旨を理解し、日本文化紹介用品の寄贈を申し出てくれた次第です。

この度の寄贈品のご提供に、心より感謝申し上げます。ご提供いただいた品々は相互の文化交流のためにRLCで使用することを約束いたします。

皆様方の貴重な貢献に改めて感謝いたします。

ベリーズ大学地域言語センター長

神奈川県 産業連携事業 「本の架け橋プロジェクト」様

私は、JICA シニア海外ボランティア (以下SV) として、中米のベリーズで、固形廃棄物処理の指導をしている、■■■■ と申します。

この度は、JICA「世界の笑顔のために」のプログラムとして、日本文化を紹介する品物を提供して頂き大変ありがとうございました。

申請から約1年を経て今年の2月にベリーズに届き、3月に提供先のベリーズ大学に無事贈呈できました。ご提供品は、JICA 調整員立会のもとで、SV からベリーズ大学の RLC (地域言語教育センター) センター長へお届けしました。先方も大変喜んでおられ、提供者の方一人一人へ感謝の手紙を頂きました。また JICA の調整員に協力していただき、贈呈の様子も撮影できましたので、感謝の手紙と合わせて同封します。

貴方を初め、日本の人達とこの国の人達との結びつきを、物品を介して「橋渡し」ができましたことはボランティア活動の一環としてとても嬉しいことでした。

この品物は、大学生を初め、職員など多くの大学関係者が手にする事ができますが、一般の人達へも「日本文化の紹介」として、目にすることが出来ますよう、イベントへの貸出などを利用して展開できるよう、大学とともに考えるつもりであります。

重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

敬具

ベリーズ JICA シニア海外ボランティア ■■■■



世界の笑顔のために「ベリーズ」
神奈川女子産学建築事業
和架中橋建設株式会社
・まんが 30冊
あじあけにまいた Thank you
University of Belize Dr. Modera
JICAベリーズ 濱崎 丘

(追記) この紙面を借りまして、簡単ですがベリーズの紹介をさせていただきます。

1 . 場所と面積 :

北米と南米の間にある中央アメリカ (メキシコの南、グアテマラの東) でカリブ海に面しています。四国の約 1 . 2 倍の面積で、首都はベルモパン (内陸) です。

2 . 人口 :

国全体で約 3 1 万人強です。

3 . 行き方 :

日本からの直行便がなくアメリカのヒューストン (またはダラスかマイアミ) 経由で、正味 1 5 時間位かかります。



(カラコル遺跡)

4 . 特徴

人々 : メスティーソ (ヨーロッパ + マヤ) 4 9 %、クレオール (ヨーロッパ + アフリカ) 2 5 %
他の混血系が大半です。

宗教 : カトリック 7 0 %、英国国教会 1 1 . 2 %、プロテスタント 1 0 . 9 %です。

政体 : 立憲君主制、元首は英国エリザベス女王です。現首相はディーン・パーロウです。

言語 : 公用語は中南米の大陸では唯一の英語です。ただしローカルにはスペイン語も多く通じる世界です。

国鳥はトゥーカン、国花は黒ラン、国獣はタビア (バク)、国樹はマホガニーです。

見どころ : サンゴ礁の海岸は世界第二位の距離、広さがあります。

(1 位はオーストラリアのグレートバリアリーフ)

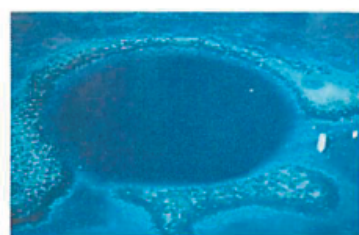
世界遺産は一か所 (ブルーホール) です。これ以外にマヤ遺跡が多くあります。



(人々)



(国鳥トゥーカン)



(世界遺産 ブルーホール)